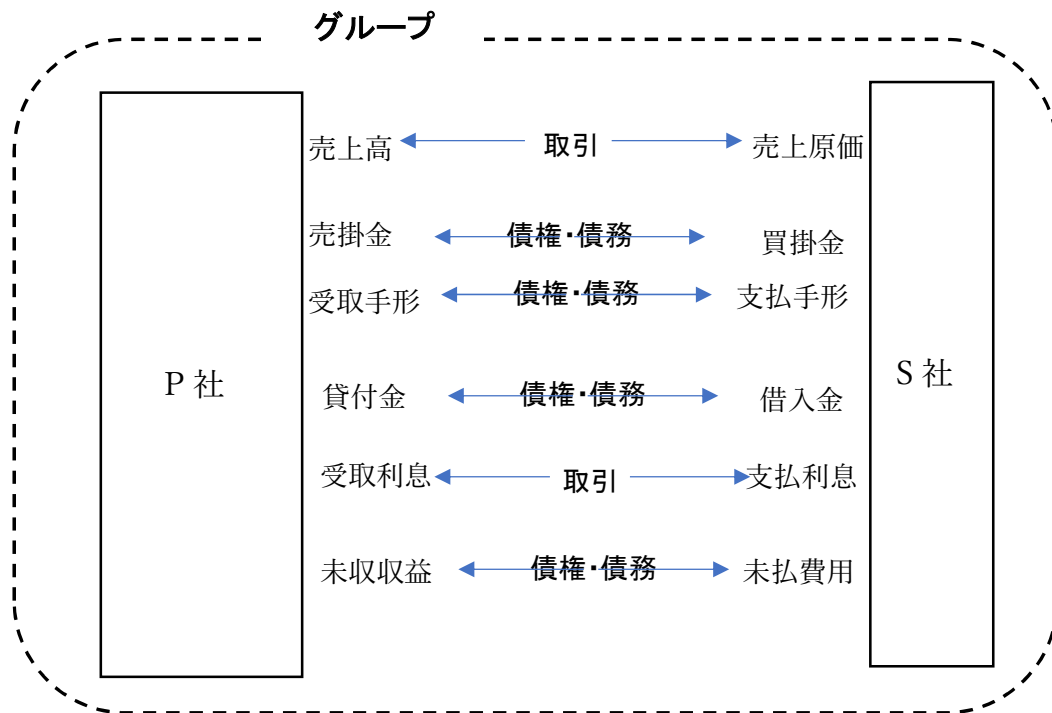


3 成果連結

グループ内部の取引や債権・債務は、連結会計上、相殺消去する。



・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にP社はS社に現金100円を貸し付けた(貸付期間10か月)。期末時点で利息が10円発生し、未収となっている。連結修正仕訳を行う。

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にP社はS社に500円を掛けで販売した。期末時点でこの売掛金が残っている。連結修正仕訳を行う。

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にS社はP社への支払いのために200円の約束手形を発行し、決算時点でP社はこれを保有している。結修正仕訳を行う。

・貸倒引当金の調整

グループ内の債権・債務を相殺消去した場合には、その債権(売掛金等)に対して設定されていた貸倒引当金も取り消す。

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期末におけるP社のS社に対する売掛金は1,000円であり、P社はこの売掛金に1%の貸倒引当金を設定している。連結修正仕訳を行う。

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期末におけるS社のP社に対する売掛金は1,000円であり、S社はこの売掛金に1%の貸倒引当金を設定している。連結修正仕訳を行う。

【解答】

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にP社はS社に現金100円を貸し付けた(貸付期間10か月)。期末時点で利息が10円発生し、未収となっている。連結修正仕訳を行う。

短期借入金 100 / 短期貸付金 100
受取利息 10 支払利息 10
未払費用 10 未収収益 10

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にP社はS社に500円を掛けで販売した。期末時点でこの売掛金が残っている。連結修正仕訳を行う。

売上高 500 / 売上原価 500
買掛金 500 売掛金 500

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期にS社はP社への支払いのために200円の約束手形を発行し、決算時点でP社はこれを保有している。結修正仕訳を行う。

支払手形 200 / 受取手形 200

・貸倒引当金の調整

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期末におけるP社のS社に対する売掛金は1,000円であり、P社はこの売掛金に1%の貸倒引当金を設定している。連結修正仕訳を行う。

買掛金 1,000 / 売掛金 1,000
貸倒引当金 10 貸倒引当金繰入 10

・P社はS社の発行済議決権株式の80%を所有し、S社を支配している。当期末におけるS社のP社に対する売掛金は1,000円であり、S社はこの売掛金に1%の貸倒引当金を設定している。連結修正仕訳を行う。

買掛金 1,000 / 売掛金 1,000
貸倒引当金 10 貸倒引当金繰入 10
非支配株主に帰属する当期純利益 2 / 非支配株主持分 2

※S社の「貸倒引当金繰入」を取り消した場合、その分S社の利益が増加するが、消去した分のうち一部(20%)は非支配株主の利益である。また非支配株主に帰属する利益が増加すれば非支配株主の資本金(=非支配株主持分)が増加することになる。